

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和4年 2月28日

事業所名 児童発達支援センターうべつくし園

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|---|---|----|---------------------------------------|---|--|
| 環境・体制整備 | 1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 14 | 2 | ・定員を超えた利用児を受け入れており、職員間で協力し合いながら活動を行っている。 | |
| | 2 職員の配置数は適切である | 8 | 8 | | ・基準上の職員数は配置してある。個々のお子様の状況に応じた対応をしているため、職員の不足感を感じる場面が多いため、職員間で連携を強化し、クラスを超えた流動的な動きが出来るように体制を改善する予定。 |
| | 3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている | 16 | 0 | ・クラスやお子様個々の特性に応じた対応を行っている。 | |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている | 15 | 1 | | |
| 業務改善 | 5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している | 14 | 2 | ・運営会議等で、経過確認を行い、状況把握に努めている。 ・お子様の支援は、個別支援計画を活用し、定期的な目標設定と振り返りを行っている。 | |
| | 6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 16 | 0 | ・保護者へのアンケートや懇談会の機会を利用し、意見の吸い上げと改善を行っている。 | |
| | 7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 16 | 0 | | |
| | 8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | 14 | 2 | | |
| | 9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 16 | 0 | ・コンサルテーションのシステムを利用し、定期的に事例検討会を実施している。 | |
| 適切な支援の提供 | 10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している | 16 | 0 | | |
| | 11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 16 | 0 | | |
| | 12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている | 16 | 0 | | |
| | 13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている | 16 | 0 | | |
| | 14 活動プログラムの立案をチームで行っている | 16 | 0 | | |
| | 15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 15 | 1 | ・常にインターネットやめディアの情報を更新し、職員間で情報を出し合っている。 | |
| | 16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している | 16 | 0 | | |
| 17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 15 | 1 | ・当日の朝に出来ない場合は、前日から情報共有を行い、活動に反映させている。 | | |

| | | | | | | |
|--------------|----|--|----|---|---|--|
| | 18 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | 14 | 2 | ・時間差の勤務体制となり、毎日必ず実施することは難しいが、出来る時や必要な時には必ず実施している。 | |
| | 19 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 10 | 4 | | |
| | 20 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している | 16 | 0 | | |
| 関係機関や保護者との連携 | 21 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | 16 | 0 | ・児童発達支援管理責任者や担当職員が参加している。 | |
| | 22 | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている | 15 | 1 | | |
| | 23 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている | 16 | 0 | | |
| | 24 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている | 16 | 0 | | |
| | 25 | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | 16 | 0 | | |
| | 26 | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | 16 | 0 | | |
| | 27 | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | 15 | 1 | ・発達障害者支援センターのコンサルテーションを受けており、専門的な支援に繋がっている。 | |
| | 28 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある | 16 | 0 | ・定期的に近隣の幼稚園児との交流の機会を設けている。 | |
| | 29 | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している | 9 | 5 | ・要請があれば、特定の職員が委員として参加している。今年度も各種協議会に参加している。 | |
| | 30 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | 16 | 0 | ・連絡帳や面談、送迎の機会等では積極的に保護者とコミュニケーションを取っている。 | |
| 保護者への説明責任 | 31 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている | 9 | 5 | | |
| | 32 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | 16 | 0 | | |
| | 33 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている | 16 | 0 | | |
| | 34 | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | 16 | 0 | | |
| | 35 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | 16 | 0 | | |
| | 36 | 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している | 16 | 0 | | |

| | | | | | | |
|---------|----|--|----|---|---|---|
| 仕等 | 37 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | 15 | 1 | ・行事予定やお知らせ等はおたよりを配布している。 ・会報誌は、今年度から再発行し、地域の方にも配布している。 | |
| | 38 | 個人情報の取扱いに十分注意している | 16 | 0 | | |
| | 39 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | 16 | 0 | | |
| | 40 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | 16 | 0 | ・今年度から地域住民も参加できるイベントを開催している。 | |
| 非常時等の対応 | 41 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している | 15 | 0 | ・訓練は毎月実施しており、同敷地内の事業所とも相互に協力を行っている。 | |
| | 42 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 16 | 0 | ・宇部市より、防災ラジオを借用し、災害時の情報収集に努めている。 | |
| | 43 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している | 16 | 0 | | |
| | 44 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 16 | 0 | | |
| | 45 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 15 | 1 | ・事故や怪我が起きた場合は、夕会等を利用し、職員間で情報を共有している。また、書類の作成も行っている。 | ・様式の変更等があったため、共有できていない部分もあるため、職員間での情報共有を実施。 |
| | 46 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 15 | 1 | ・自己点検を2回／年、行っており、集計結果を回覧している。 | |
| | 47 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している | 16 | 0 | | ・山口県の監査で、個人用のバギーの取り扱いについて指摘事項があったため、今後は身体拘束を行わなければならない場面が生じる場合は、必ず個別支援計画書に反映する。 |

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和4年 2月28日

事業所名 児童発達支援センターうべつくし園 保護者等数(児童数) 44 回収数 41 割合 93.2 %

| | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた 対応 |
|-------------|---|----|---------------|-----|-------|---|--|
| 環境・ 体制整備 | 1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか | 40 | 2 | 0 | 0 | ・室内も園庭も広くとても良いです。 | |
| | 2 職員の配置数や専門性は適切であるか | 32 | 7 | 1 | 1 | ・各クラスに数名の先生がいらっしゃるの ので適切だと思います。 ・常に目が届いていてすごい と思います。 ・親としては満足しているが、 子どもに手がかかると、先生 方はお忙しいと思うので、 マンパワー的にどうかと...。 ・専門性は大丈夫と思いますが、 職員数が足りず、1人の負担 が多いのではと心配になります。 ・園児の人数に対して職員数が 少ないように感じる。先生の 数を増やして欲しい。その方が 質の良い療育が受けられると思 | ・基準上で必要な職員数以上の 配置を行っているため、現時 点では職員の増員は難しい。 |
| | 3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がい の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切 になされているか | 40 | 1 | 0 | 0 | ・分かりやすくなっていると思 います。 ・きちんと指示された部屋に移 動できているそうなので、分 かりやすいのだと思います。 | |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に 合わせた空間となっているか | 39 | 2 | 0 | 0 | ・全力で遊べる空間を常に作 っておられ、いつもすれでも 常に床もきれいです。 ・布団などが汚れているな と思うことがある。 ・マットの汚れが気になり ますが...。 ・黄色の帽子を週末に持ち 帰り、洗濯するようにし たいです。 ・砂や汗まみれで毎回使 うのは衛生的に良くない かなと思います。 ・南側の部屋は日当たり が良すぎて日向は暑すぎ て子どもが汗だくの時 があり、サンシェード やカーテン等で日よけ する必要があると思 う。 | ・布団のシーツ類は週末 に洗濯を行っていますが、 週の途中で汚れること もあるため、汚れた時 にはその都度洗濯する よう再度職員間で情報 共有を行います。 ・マットのような大型 の遊具はその都度洗 うことは出来ませんが、 長期休み(盆休み等)に 洗っています。 ・外遊び用の帽子は、 週末に持ち帰るように 推進してまいります。 ・日当たりの良い部屋 への配慮は検討いた します。 |

| | | | | | | | |
|----------|--|---|----|---|---|---|--|
| 適切な支援の提供 | 5 | 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、 <u>児童発達支援計画*2</u> が作成されているか | 40 | 1 | 0 | 0 | ・こまかくこちらの希望を聞いて下さり、きちんと組み込んだ計画を7作ってくださっています。更に+αの支援も試みて下さっています。 |
| | 6 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | 37 | 1 | 0 | 3 | ・専門的なことはよくわかりませんが、子どもの状態で無理のない最大限の計画を設定して下さっています。 |
| | 7 | 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか | 40 | 1 | 0 | 0 | |
| | 8 | <u>活動プログラム*3</u> が固定化しないよう工夫されているか | 37 | 2 | 0 | 1 | ・いろいろな活動を通して様々な経験をさせて頂いてありがとうございます。 ・その日の状況でも臨機応変に変更して下さっているようです。 |
| | 9 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか | 40 | 1 | 0 | 0 | ・併用させていただいているので常にあります。 |
| 保護者への説明等 | 10 | 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか | 37 | 2 | 0 | 1 | ・利用開始時、とても丁寧にご説明頂いたので分かりやすかったです。 |
| | 11 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか | 40 | 0 | 0 | 1 | |
| | 12 | 保護者に対して家族支援プログラム(<u>ペアレント・トレーニング*4</u> 等)が行われているか | 31 | 3 | 0 | 7 | |
| | 13 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか | 40 | 1 | 0 | 0 | ・連絡帳に細かく様子を書いて下さり助かります。 |
| | 14 | 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか | 41 | 0 | 0 | 0 | |
| | 15 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか | 37 | 2 | 1 | 1 | ・参加していないため。 |
| | 16 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか | 38 | 2 | 0 | 1 | ・いつも開かれている空間というイメージがある位、何でも聞いて下さり、速やかに対処、返答を下さっています。お話し易いです。 |
| | 17 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか | 35 | 4 | 0 | 2 | |
| 18 | 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか | 28 | 4 | 2 | 7 | | |

| | | | | | | | |
|---------|----|--|----|---|---|---|--|
| | 19 | 個人情報の取り扱いに十分注意されているか | 38 | 2 | 0 | 1 | |
| 非常時等の対応 | 20 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。 | 26 | 9 | 0 | 6 | |
| | 21 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか | 35 | 1 | 0 | 5 | ・親子通園の時にしているのですが、実際親がいない環境となると大丈夫なのか心配。 ・避難訓練は毎月1回行っています。毎月発行しているおたよりに記載いたします。 |
| 満足度 | 22 | 子どもは通所を楽しみにしているか | 39 | 2 | 0 | 0 | ・本当に大好きで、次の保育園へ行く時、泣いてしまうことがあります。 ・毎日「つくし園楽しかった」と言って帰って来ます。 ・毎日とても楽しいようです。 |
| | 23 | 事業所の支援に満足しているか | 37 | 4 | 0 | 0 | ・いろいろな活動をして頂いたり、よく様子を見て頂いたり、とても感謝しています。 ・事業拡大されてからイベントの規模が大きくなり、地域の方が来ることで、子どもが落ち着かず、あそべないのはどいかに思いました。 ・イベントは、それぞれの目的に応じて、地域の方も参加して頂けるもの、在園児中心のもの、在園児や卒園児、外来療育教室児対象のものに分けて開催しています。大きいイベントについては、今年度の反省が次年度に繋がるよう配慮したいと思います。 |

*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。